



# 教育センターだより

令和2年3月9日

文責 渡辺 富美夫

## 今年度の富士山学習を振り返って



2月20日(木)に、本年度最後の研究会(富士山学習研究会)が行われ、主に次の2つの内容で話し合いが進められました。

**\* 1 研修① プログラムの紹介**

講師 富士山科学研究所 小俣欽司先生・藤巻桂吾先生

講師 富士山世界遺産センター 堀内竜幸先生

**\* 2 今年度の反省【・富士山学習研究会・教育センター事業】**

**\* 1** について **専門機関との連携・文化遺産の理解が進む** 本年度は富士山学習において富士山科学研究所との連携による授業が多くの学校で行われました。また、「富士山が文化遺産であること」に関わる子どもたちの認識が不十分であるとの昨年度の反省を受けて今年度は多くの取組がなされました。また、富士山世界遺産センターの利用も増えています。両施設ともに小学校低学年から中学生まで利用できるものが用意され、施設内での学習にとどまらず各学校への出前授業も行っています。なお、相談しながら学校の要望に応じた授業も行うことができるとのことです。富士山学習の充実には専門機関との連携はとても有効です。さらなる活用を進めていきたいものです。

**\* 2** の富士山学習について **体験学習のさらなる充実。防災教育取組推進を** 4年社会科「ほりぬきがひらいた未来」の授業が、富士山科学研究所との連携や体験学習プログラム(見学)の定着とともに、各学校で実践されている様々な取組も充実されてきており富士山学習が確実に進められています。今後に向けて、防災学習の実践に向けた研究を進めていきたいという意見も出されました。また、富士山学習実践資料のさらなる蓄積と共有を進めていくことが確認されました。

**教育センター事業について**

設置条例にしたがって、事

業を展開してきました。特に小学校英語科の先行実施を受けた取組や学校の多忙化改善に向けたセンターのかかわり方を視点にした活動を行ってきました。来年度も教育センターとして何を行うことが児童・生徒にとって必要かを大前提とし、町の教育課題や学校のニーズに応えた事業を行い、現場に生きる取組をしていきたいと思います。

**小学校英語科先行実施、  
良い形で本格実施へ**

新型コロナウイルス感染症対策として町内の学校は3月4日から臨時休業となりました。年度末の様々な取組や卒業式が十分な形で実施されないのはとてもつらく、さびしいことです。しかし、今まで多くのことを学び、培ってきたことは色あせるものではありません。節目を大切にし、これまでの歩みを振り返るとともに明るく前向きに新たな一步を踏み出してください。応援しています。

**●富士山学習の継続研究**

- ・文化遺産に関わる富士山学習の授業開発と実践
- ・管外視察研修(静岡県側の構成資産等の学習)
- ・臨地研修(富士山学習に関わる担任も含めて)
- ・富士山科学研究所・富士山世界遺産センター等との連携(小・中理科等)

